

令和6年度（2024年度） 鳥羽志摩中学校春季大会 野球の部 要項

1. 期日及び会場

◇ 第1日目： 5月11日（土）・・・長沢球場（N）

◇ 第2日目： 5月12日（日）・・・長沢球場（N）

※予備日：18日（土）19日（日）・・・長沢球場 《雨天順延》

※11日（土）、12日（日）は第40回少年軟式野球三重県大会が開催されるため、県大会出場校は参加しない。

※日程の都合上、雨天等でこれ以上に大会が順延となった場合は、打ち切りとする。

2. 使用球

*公認ナガセケンコーM号（1試合につき各校3球提出）

3. 責任者

*長沢球場：会場（石本【磯部】），記録・競技（三浦【鳥羽東】），弁当（松本【加茂】）

4. 競技規定及び申し合わせ事項

(1) トーナメント方式とする。組み合わせは別記の通り。

(2) ルールは、2024年度公認野球規則とするが、5.10(d)と5.10l-(2)は除外する。

※5.10(d)：投手は同一イニングに投手以外の守備に2度以上つくことは許されない。

※5.10l-(2)：監督またはコーチが、1イニングに同一投手のもとへ2度目に行けば、その投手は自動的に試合から退かなければならない。

(3) 各試合7回戦。得点差によるコールドゲームは、3回以降15点差、5回以降7点差とする。（優勝戦も適用する）

※日没・降雨・雷などによるコールドゲームは、5回以降に適用し、イニングの終了時に適用する。その時点で勝敗の決しない時またはそれ以前の場合は、特別継続試合（サスペンデットゲーム）とする。

※決定は本部・大会長・専門部長・審判団の協議により決定する。

(4) 7回で勝敗の決しないときは、8回よりタイブレーク（無死一・二塁：継続打順）を行う。

準決勝・決勝についても同様とする。9回を終了して決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。ただし、三重県軟式野球連盟の内規により決勝戦は除く。

(5) 球審の試合開始の合図から、1時間30分を超えて新たなイニングには入らない。ただし、同点の場合はタイブレークを1回実施し、それでも同点の場合は抽選とする。

※抽選方法は、審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが終了挨拶の状態に整列し、○印、×印各9枚、18枚の封筒を球審が先攻チームより一枚ずつ交互に選ばせる。二人の審判員が両チームの監督立ち合いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

(6) 抗議は一切認めないが、監督と当該プレーヤーのみ説明を求めることができる。

(7) 監督は当該校の教員、コーチは当該校の教職員及び、学校長が認めた継続指導をしているコーチとする。

(8) ベンチは若番を1塁側とし、ベンチ入りはスコアラーを含めて25名以内とする。

(9) 試合出場人数は、背番号をつけている18名以内とする。

(10) ベンチ入りの顧問は学校関係者3名以内とする。（監督は背番号「30」をつける）

*選手、監督、コーチは同色、同形、同意匠のユニフォームを着用することが望ましい。

☆チーム事情等で、1年生が大会に出場する場合、試合用のユニフォーム・帽子が大会に間に合わない可能性があります。その場合は、練習用ユニフォームに背番号をつけ、練習用帽子を着用した形での参加を認める。スパイクは同色でなくてもよい。（体操服やスポ少のユニフォームでの出場は認めない）

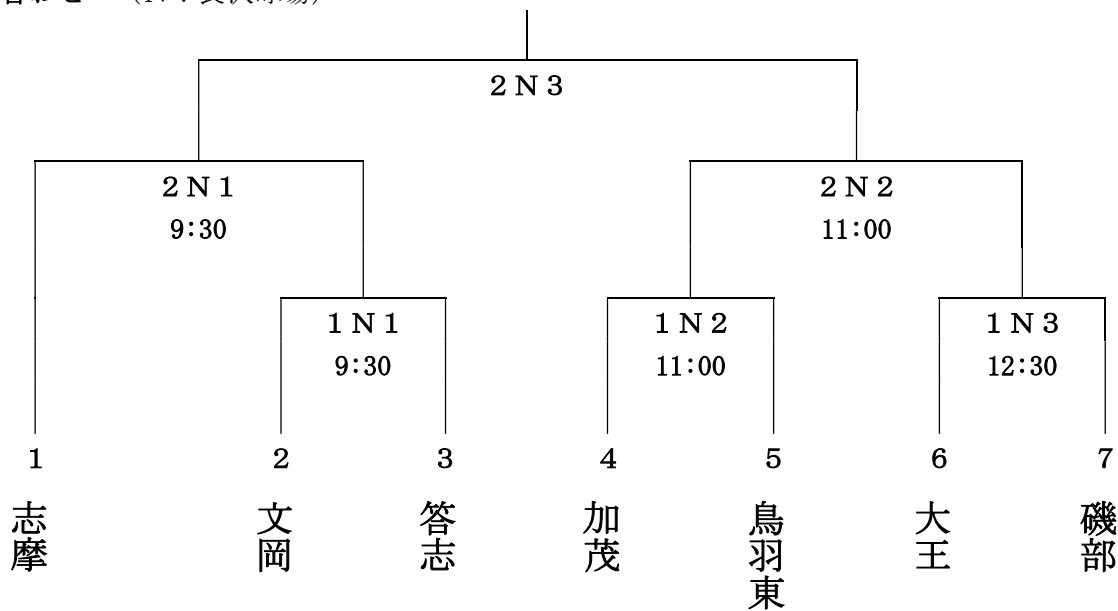
*コーチも29、28番を可能であればつけておく。

(11) 第1試合の打順表交換、攻守の決定等は、試合開始予定時刻の40分前とし、第2試合以降は前試

合の4回裏終了後を基本とする。(打順表は4部提出すること)

- (12) シートノックは後攻から始めて5分以内とする。ダートサークルに入る補助員はユニフォーム着用(練習用可)のうえ必ずヘルメットを着用すること。相手チームのノック中は、危険防止のためベンチから出ない。ただし、ブルペンでの投球練習は除く。(捕手は必ずレガース・プロテクター・マスク・ファールカップを着用すること。投手が守備練習のためにマウンド付近を使用することを禁止する。
- (13) 捕手は、プロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・スロートガード・ファールカップ、打者・次打者・走者・およびランナーコーチは、両耳ヘルメットを着用する。
- (14) 次打者はネクストバッターズサークルに入り、サークル内へは試合で使用できるバット1本しか持ち込めない。
- (15) マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボールなど試合で使用しない物の球場内への持ち込みは禁止する。
- (16) リストバンド、ハイカットストッキング、エルボーガード等の使用を禁止する。
ただしサポーター(手首や指を固定・保護する目的の物)の使用は医療目的に限り試合前に大会本部に申し出て許可を得る
- (17) 表彰については、1位1校、2位1校とする。
- (18) 人権を無視したり、相手を傷つけたりするような応援は絶対にしない。
- (19) メガホンは、ベンチに1個持ち込むことができる。
- (20) 投手の投球制限については、1日100球、1週間350球までとする。
ダブルヘッダーの場合は、打順表交換時に必ず投手(前の試合に登板した全ての投手)の投球数を報告する。
- (21) 攻守交代の際に控え選手がベンチを出て守備練習を見守ることを禁止する。
- (22) 投手の準備投球に合わせて、先頭打者、次打者席で素振りをする以外、他の選手がベンチを出て素振りすることを禁止する。
- (23) 攻守交代時の準備投球で、控え選手等が準備投球を捕球する場合は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球する。(出場している内野手可)

5. 組み合わせ (N:長沢球場)



*選手宣誓は 4番 (開会式は9時開始)

6-1. 試合開始時刻

○ 第1日目 (N会場)

第1試合 9:30 第2試合 11:00頃 第3試合 12:30頃

○ 第2日目 (N会場)

第1試合 9:30 第2試合 11:00頃 第3試合 第2試合終了後40分後

7-2. 審判

○ 第1日目 (複数顧問の学校は大会運営の協力をする)

1N1 (4・5・6) 1N2 (6・7・1N1勝) 1N3 (1・1N1負・1N2勝)

○ 第2日目 (複数顧問の学校は大会運営の協力をする)

2N1 (1N1負・1N2勝・1N3勝)

2N2 (1N2負・1N3負・2N1勝)

2N3 (2N1負・2N2負・1N1負)

※ 顧問の人数次第で、さらに協力をお願いするかもしれません・

※ 外部審判で足りない部分を顧問で補う。

8. その他

- (1) 毎日のゴミ処理・グラウンド整備は、最終チームが必ず担当する。
- (2) 審判は、試合の30分前には集合し、準備にあたる。
- (3) 大会長・養護の先生は、第一日目は8時30分、第二日目は8時45分に会場に到着しておく。
- (4) サブグラウンドの使用の仕方や駐車場から球場への移動等、ルールとマナーに気を付ける。特に長沢球場の駐車については、保護者の方への周知徹底をしておく。
- (5) **離島の生徒が6時55分の定期船に乗船できない場合は順延とする。(6時30分くらいの決定になるので各校待機等の準備をしておく)**
- (6) 顧問・副顧問関係なく、また一日目で敗戦しても二日目の運営に協力する。
- (7) 手首を固定するサポーター等の使用は、医療目的なら可。ただし、相手チームの了解を得ること。単に固定目的なら不可。
- (8) 先発投手は、前の試合の4回終了後、グラウンド内のブルペンでの投球練習ができる。ただし、試合中の学校の使用を優先する。投球練習の際は、スパイクを履くこと。捕手は、試合と同じ防具を着けて捕球すること。
- (9) 開会式は、第1試合と第2試合のチームは参加する。
- (10) 試合開始予定時刻はあるが、天候等により、開始時間が早まる可能性があることを、保護者等に連絡しておく。
- (11) 大会の終了時間については、選手等の安全面を考慮し、離島の生徒が在籍する学校については、16時50分発の定期船に乗船可能な時間に、当該試合の進行を中断し、特別継続試合の措置をとる。(15時30分を目安とする:長沢球場の場合) また、それ以外の学校についても、選手の帰宅時間が18時を過ぎないように考慮し、当該試合の進行を終了し、特別継続試合の措置をとる。この措置が、予想される場合は(特に第三試合)、あらかじめ大会長・専門部で試合開始前に試合進行終了時刻(新しいイニングに入らない時刻)を決定しておく。